

# 第 部 調査結果の概要

## 1 平成 16 年（2004 年）の概況

鋳工業生産指数は 96.2，前年比 2.7% 上昇（2 年連続）  
 鋳工業出荷指数は 101.7，前年比 5.9% 上昇（2 年連続）  
 鋳工業在庫指数（末）は 77.7，前年比 11.0% 低下（4 年連続）

### （1）鋳工業生産指数

鋳工業生産指数は、96.2（前年比 2.7% 上昇）となり、2 年連続で前年を上回った（図 1）。業種別にみると（図 2）、半導体集積回路の生産が伸びた電子部品・デバイス工業や、鋼船の手持受注量が高水準で推移した輸送機械工業等がプラスに寄与した。一方、食料品・たばこ工業は、平成 16 年 3 月末にたばこ工場が閉鎖された影響により、マイナスに寄与した。

### （2）鋳工業出荷指数

鋳工業出荷指数は、電子部品・デバイス工業や輸送機械工業が好調であったため、101.7（前年比 5.9% 上昇）となり、2 年連続で前年を上回った（図 1）。

### （3）鋳工業在庫指数（末）

鋳工業在庫指数（末）は、輸送機械工業の在庫指数（末）が大幅に低下したため、77.7（前年比 11.0% 低下）となり、前年を大きく下回った（図 1）。これは、平成 16 年 12 月に発生した自動車関連の一部工場の火災により、自動車の在庫品の大部分が出荷されたためである。

図 1 鋳工業指数の推移（年は原指数，四半期は季節調整済指数）

（平成 12 年平均 = 100）

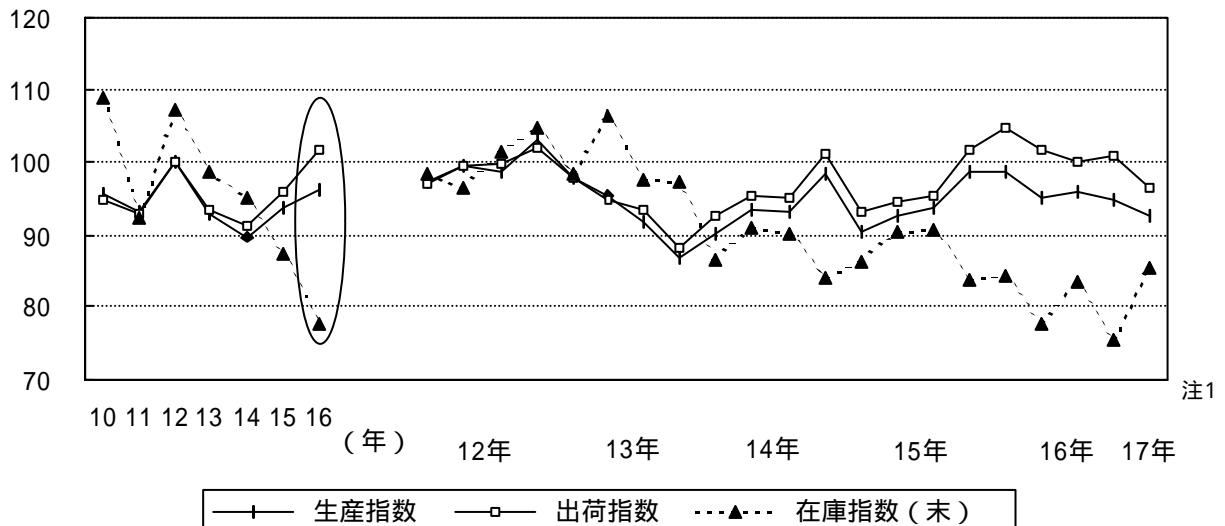
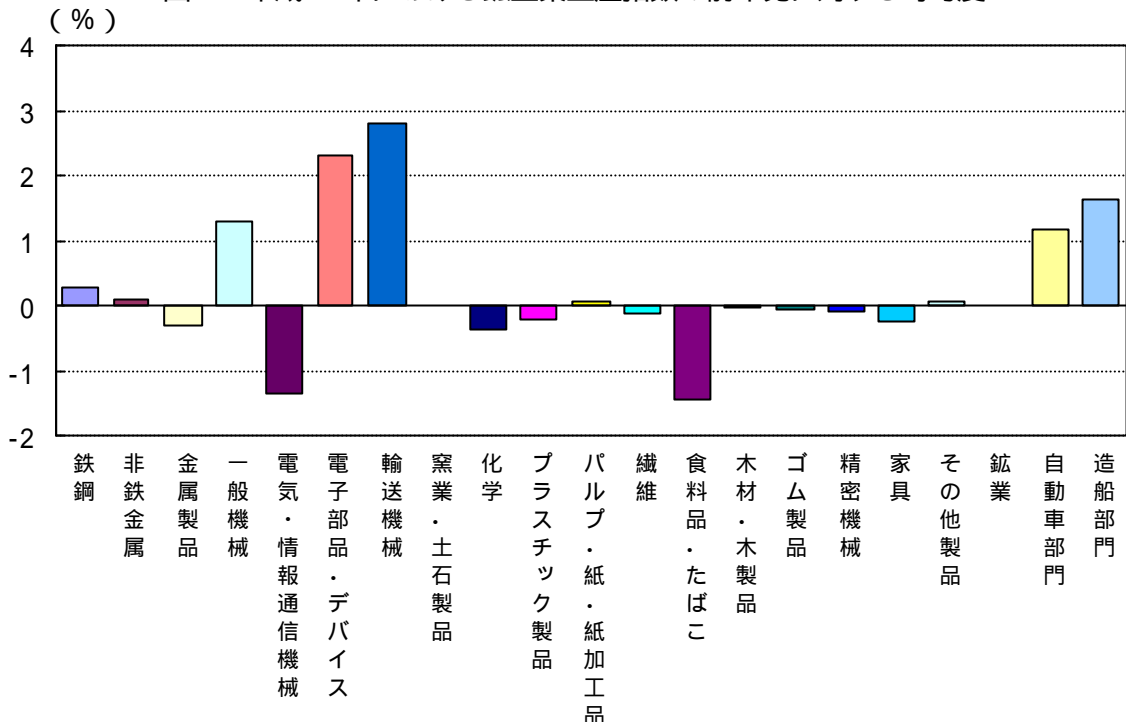


図2 平成16年における鉱工業生産指数の前年比に対する寄与度<sup>注2</sup>



注1 : 1～3月, : 4～6月, : 7～9月, : 10～12月

注2 寄与度とは、全体の上昇・低下に対し、各業種の上昇・低下がどの程度影響を与えているか示したものである。

## 2 生産の業種別動向（寄与度順）

### (1) 前年比が上昇した業種

上昇した主な業種	前年比	寄与度	上昇した主な品目
輸送機械工業	17.5%	2.81%	鋼船新造, 普通自動車
電子部品・デバイス工業	28.2%	2.32%	半導体集積回路, パッシブ型液晶素子
一般機械工業	10.6%	1.29%	印刷機械, 半導体製造装置

### (2) 前年比が低下した主な業種

低下した主な業種	前年比	寄与度	低下した主な品目
食料品・たばこ工業	15.2%	1.44%	巻たばこ, 飲用牛乳
電気・情報通信機械工業	19.9%	1.34%	PHS・携帯電話
化学工業	8.6%	0.37%	医薬品, アクリロニトリル

### 3 関連業種別生産指数の推移

好調な機械関連業種，横ばいの素材関連業種，低迷する生活関連業種

業種別の生産指数を機械関連業種，素材関連業種，生活関連業種の3つに分けて分析すると注(図3)，平成16年は，機械関連業種が鉱工業生産指数の上昇に大きく寄与していることが分かる。一般的に，機械関連業種は，素材関連業種及び生活関連業種と比べ，ウェイトが高く，変動幅も大きいいため，鉱工業指数全体の動きを左右することが多い。

また，関連業種別にみると(図4)，機械関連業種は平成14年を底として大きく伸びている一方，生活関連業種は低下傾向に歯止めがかかっていない。素材関連業種は平成13年以降，横ばいの状況が続いている。

図3 鉱工業生産指数の前年比の推移

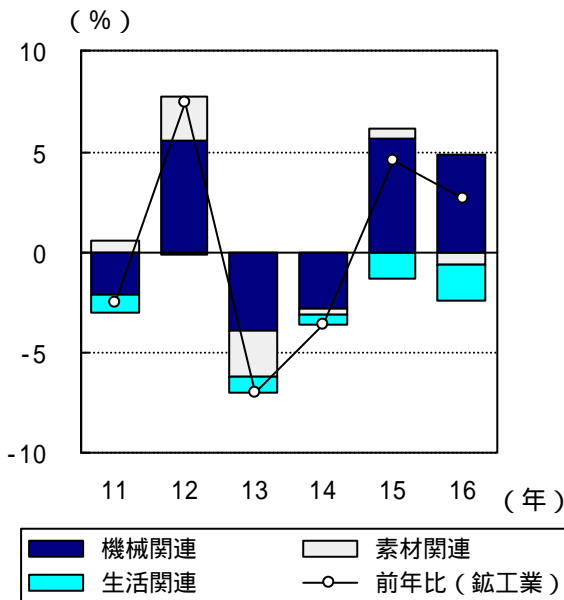
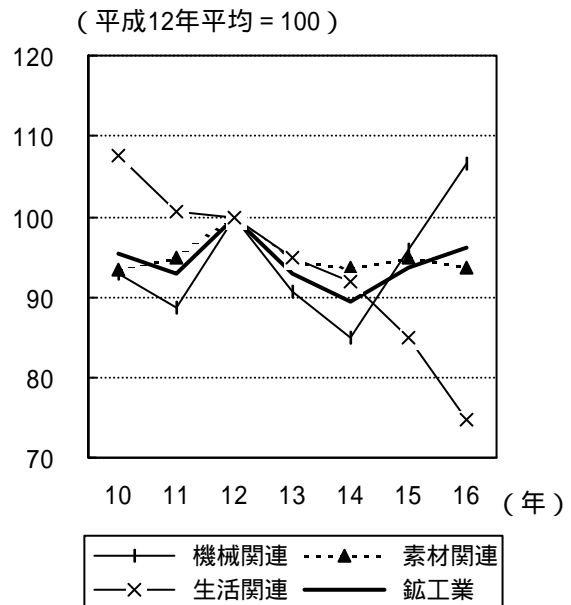


図4 関連業種別生産指数の推移



注 各関連業種の分類は，次のとおりとした。

機械関連業種：一般機械工業，電気・情報通信機械工業，電子部品・デバイス工業，輸送機械工業，精密機械工業

素材関連業種：鉄鋼業，非鉄金属工業，金属製品工業，窯業・土石製品工業，化学工業，プラスチック工業，パルプ・紙・紙加工品工業，木材・木製品工業，ゴム製品工業

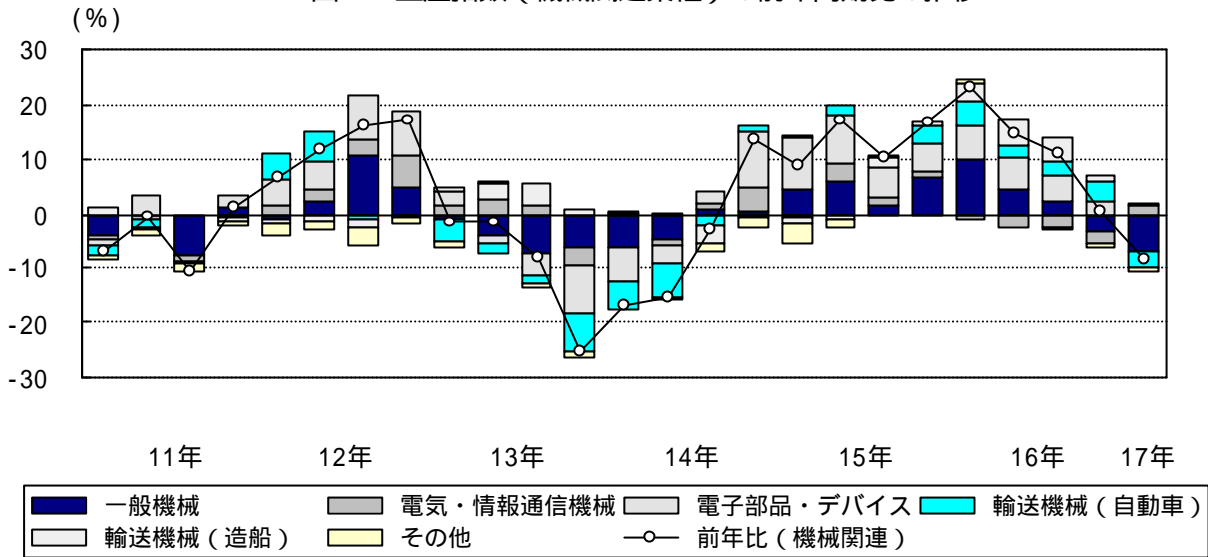
生活関連業種：繊維工業，食料品・たばこ工業，家具工業，その他製品工業

#### (1) 機械関連業種の生産指数の推移

機械関連業種の生産指数は，電子部品・デバイス工業がけん引

機械関連業種の生産指数は，電子部品・デバイス工業がけん引役となり，平成14年10～12月期から平成16年10～12月期まで前年同期比がプラスで推移した(図5)

図5 生産指数（機械関連業種）の前年同期比の推移



### 一般機械工業

一般機械工業は、前年比 10.6%と 2 年連続で上昇した。四半期ごとにみると、平成 15 年以降、印刷機械や半導体製造装置、ポンプ等が上昇傾向にあったため、平成 16 年 7 ~ 9 月期まで前年同期比がプラスとなった。その後、印刷機械や半導体製造装置の反動減や、反応用機器の生産が大きく減少した影響等により、前年同期比がマイナスとなっている。

### 電気・情報通信機械工業

電気・情報通信機械工業は、携帯・PHS の生産の一部が県外へ移ったこと等から、前年比 19.9%と 5 年ぶりに低下した。

### 電子部品・デバイス工業

電子部品・デバイス工業は、前年比 28.2%と大幅に上昇した。四半期ごとにみると、平成 14 年 7 ~ 9 月期に前年同期比が上昇へ転じた後、平成 15 年初めに半導体集積回路の一部工場の量産体制が整ったこともあり、平成 17 年 1 ~ 3 月期まで前年同期比がプラスで推移した。しかし、平成 16 年 10 ~ 12 月期から半導体集積回路の生産の伸びが鈍化したため、電子部品・デバイス工業もそれ以降、横ばいで推移している。

### 輸送機械工業（自動車部門）

輸送機械工業（自動車部門）は、平成 15 年 10 月以降、量産型の車種の生産がほぼ県外の工場へ移ったため、平成 16 年の普通自動車の生産台数は減少したが、県外向けのエンジンの生産台数は増加したため、全体では堅調に推移した。

なお、輸送機械工業（自動車部門）は、指数の作成方法を平成 16 年 1 月分から変更したため、平成 16 年の年・四半期・月の前年比が、実際よりも高めに出ている。詳細は、「9 「自動車部門」の生産・出荷指数の作成方法の変更」（32 頁）を参照のこと。

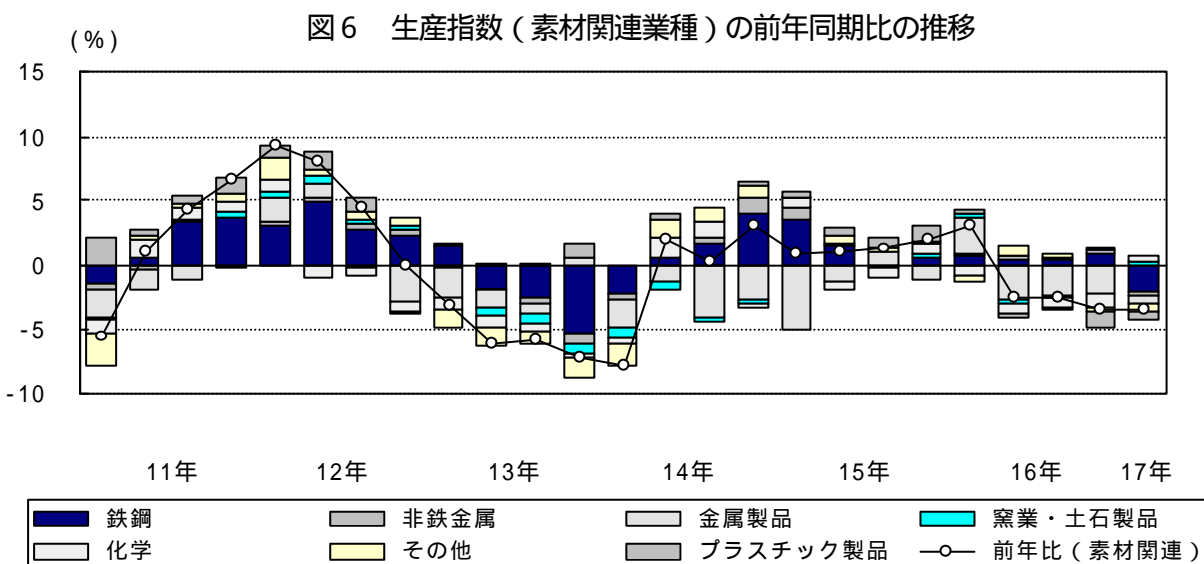
## 輸送機械工業（造船部門）

輸送機械工業（造船部門）は、平成16年1～3月期から鋼船の手持受注量が高水準で推移したため、前年比24.7%の上昇となり、前年を大きく上回った。これは、船舶の過積載による海難事故を防止する等の目的で制定された国際満載喫水線条約が改正され、17年1月1日以降に起工する船舶への技術要件が厳しくなったため、駆け込み的な起工が行われたことが影響している。

## （2）素材関連業種の生産指数の推移

堅調な鉄鋼業，低迷する金属製品工業，工場閉鎖の影響が大きい化学工業

素材関連業種の生産指数は、鉄鋼業は堅調な動きが続いているものの、金属製品工業は低迷しているため、平成16年4～6月期以降、前年同期比はマイナスとなっている（図6）



### 鉄鋼業

鉄鋼業は、自動車等に用いられる鋼帯や特殊鋼熱間圧延鋼材、普通鋼冷延広幅帯鋼等が好調であったが、土木・建築等に用いられるH形鋼や食缶等に用いられるティンフリースチール等の生産が大きく減少したため、全体では前年比1.7%の上昇と堅調に推移した。

### 金属製品工業

金属製品工業は、橋りょうが平成15年と比べ生産が半減し、ウェイトの高い食缶や水門、鉄骨等の生産も減少し続けているため、前年比6.5%と4年連続で低下した。

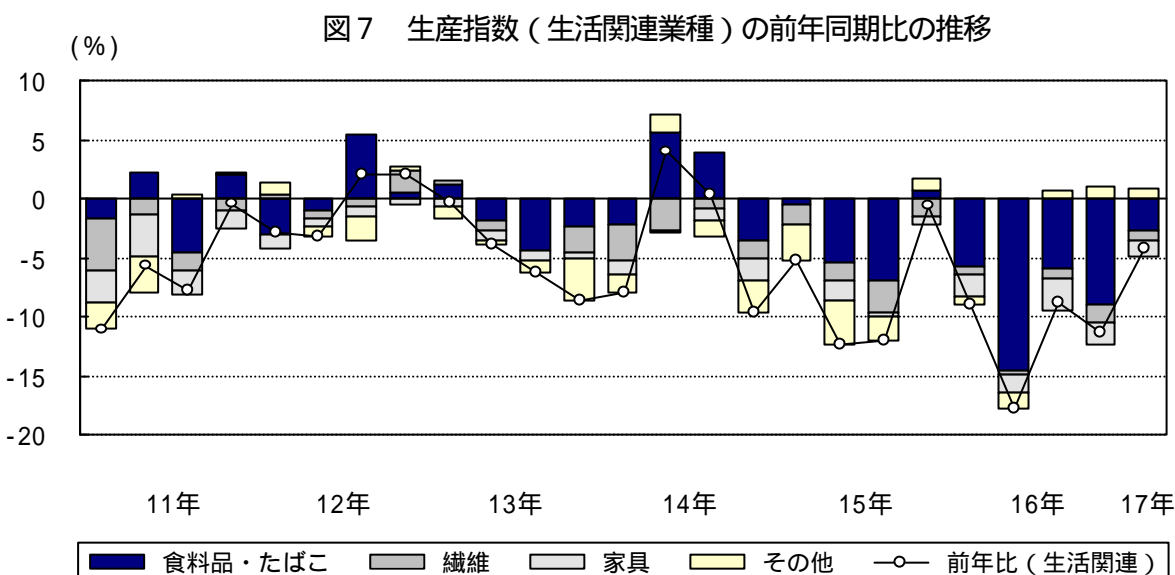
### 化学工業

化学工業は、平成15年12月末に医薬品の一部工場が閉鎖された影響等により、前年比8.6%と大幅に低下した。

### (3) 生活関連業種の生産指数の推移

#### 工場閉鎖の影響が大きい食料品・たばこ工業

生活関連業種の生産指数は、平成16年3月末にたばこ工場が閉鎖された影響により、食料品・たばこ工業がマイナスに大きく寄与した(図7)。



#### 食料品・たばこ工業

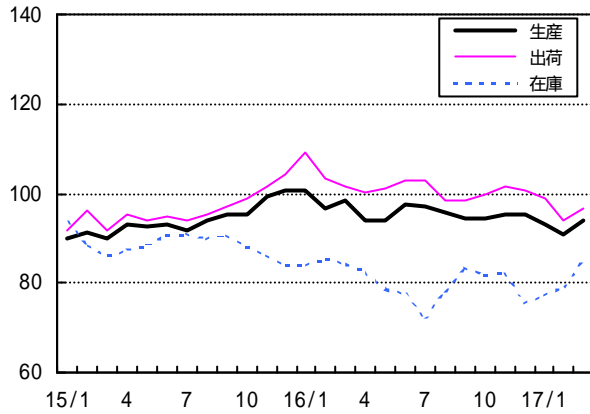
食料品・たばこ工業は、平成16年3月末にたばこ工場が閉鎖された影響により、前年比 15.2%と大幅に低下した。しかし、菓子パンの生産が大きく伸びたため、食料品全体ではむしろ増加している。

#### 家具工業

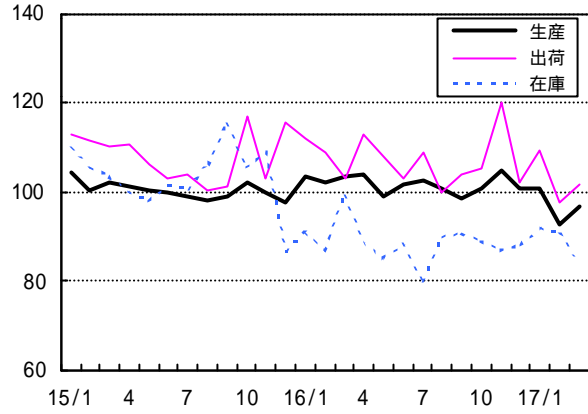
家具工業は、生産指数が50.9(前年比 26.9%低下)となり、5年前の半分以下の水準にまで低下している。平成16年は、木製たんすや木製いすの生産の減少が目立った。

#### 4 主要業種別季節調整済指数の推移 (平成12年平均 = 100)

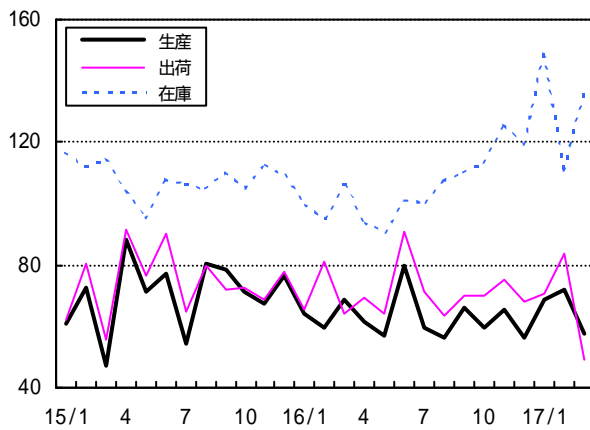
鋳工業総合 (生産ウイト = 10000.0)



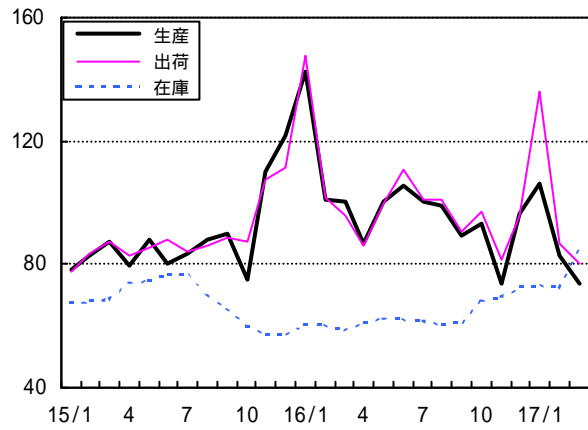
鉄鋼業 (生産ウイト = 1577.0)



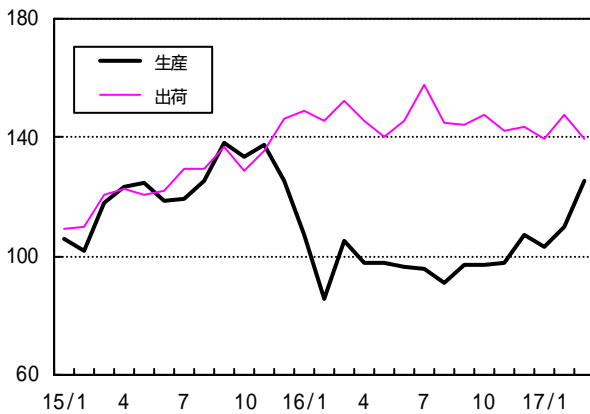
金属製品工業 (生産ウイト = 685.3)



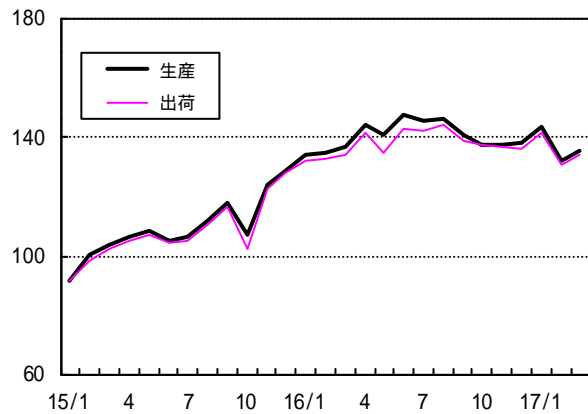
一般機械工業 (生産ウイト = 1288.7)



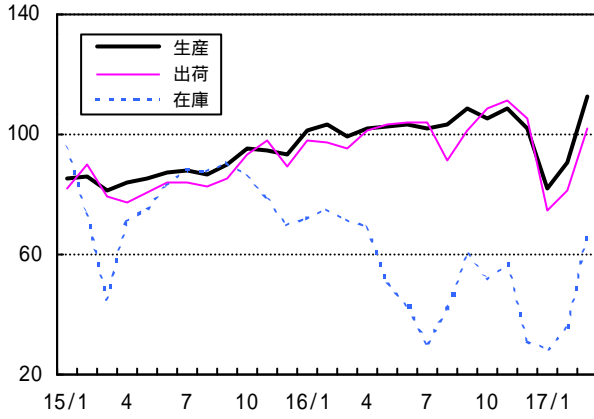
電気・情報通信機械工業 (生産ウイト = 518.1)



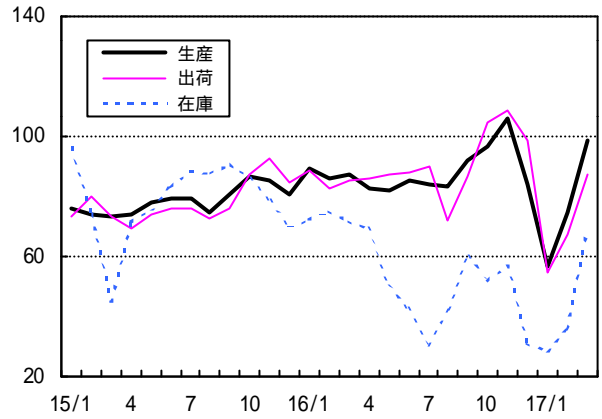
電子部品・デバイス工業 (生産ウイト = 703.4)



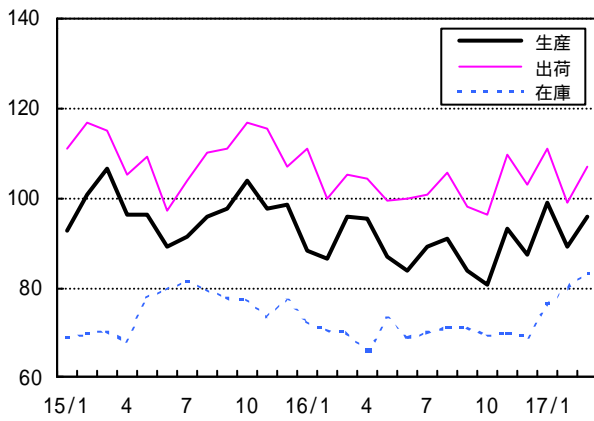
輸送機械工業（生産額11 = 1706.8）



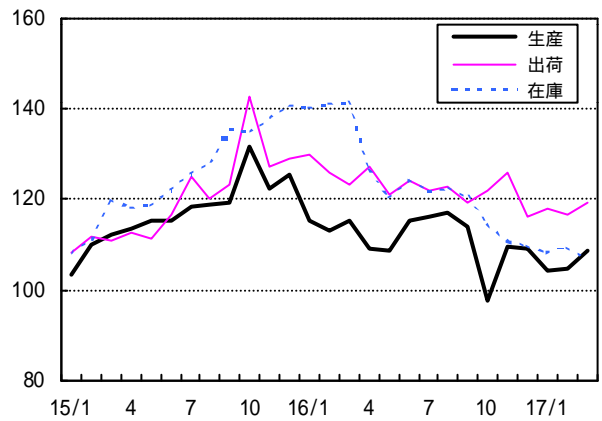
自動車部門（生産額11 = 1,115.8）



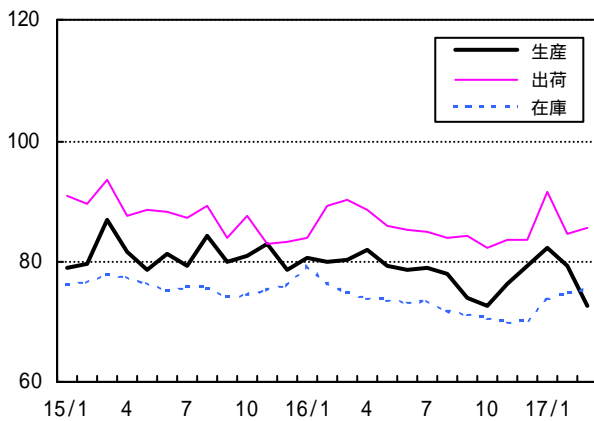
化学工業（生産額11 = 423.0）



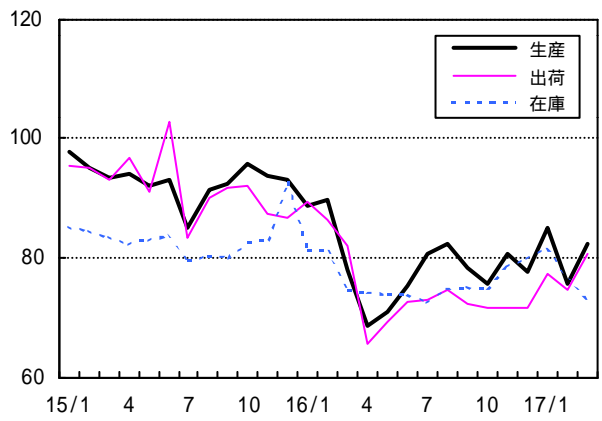
プラスチック製品工業（生産額11 = 352.6）



繊維工業（生産額11 = 379.2）



食料品・たばこ工業（生産額11 = 954.6）

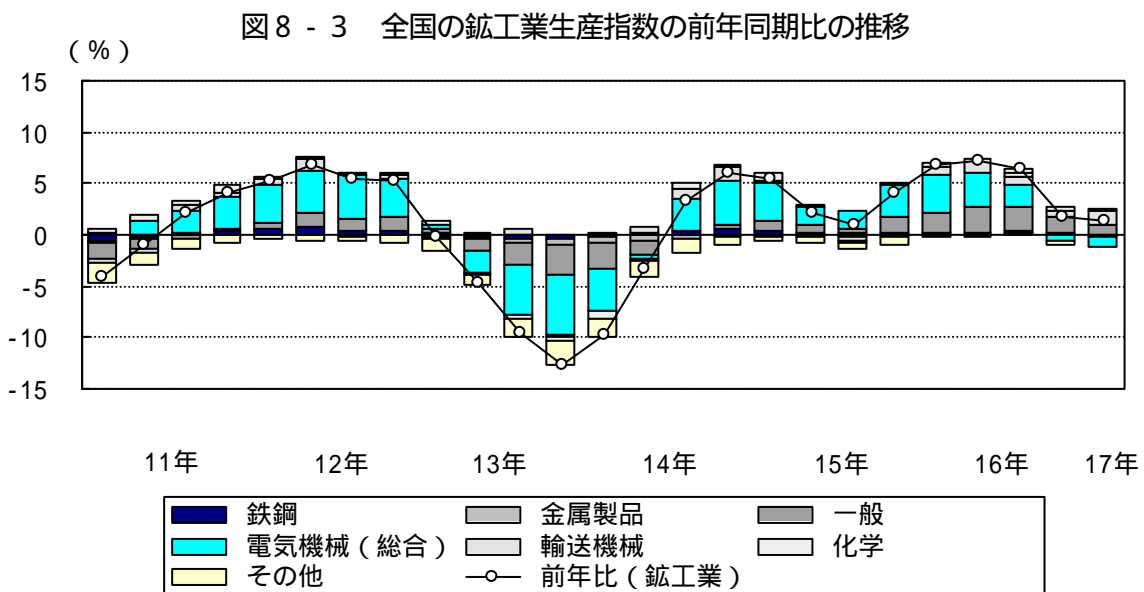
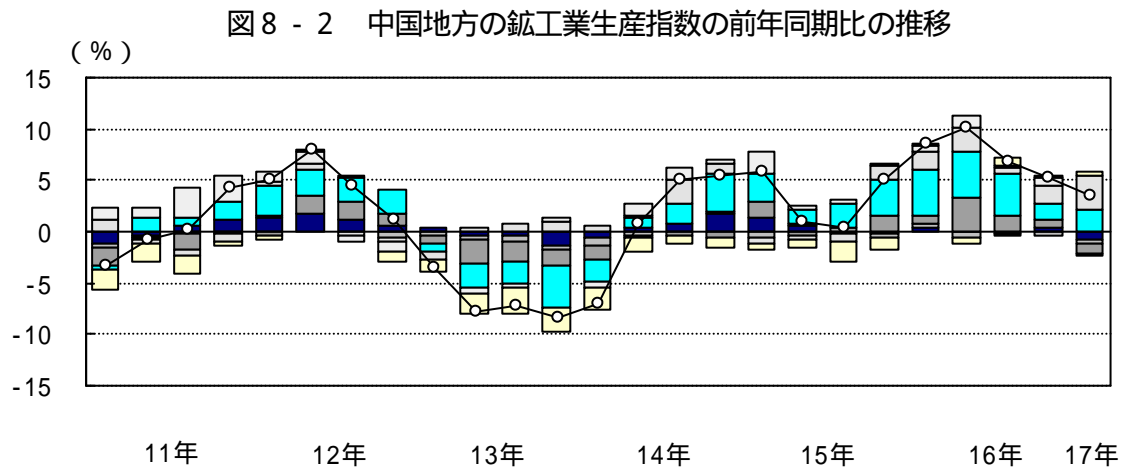
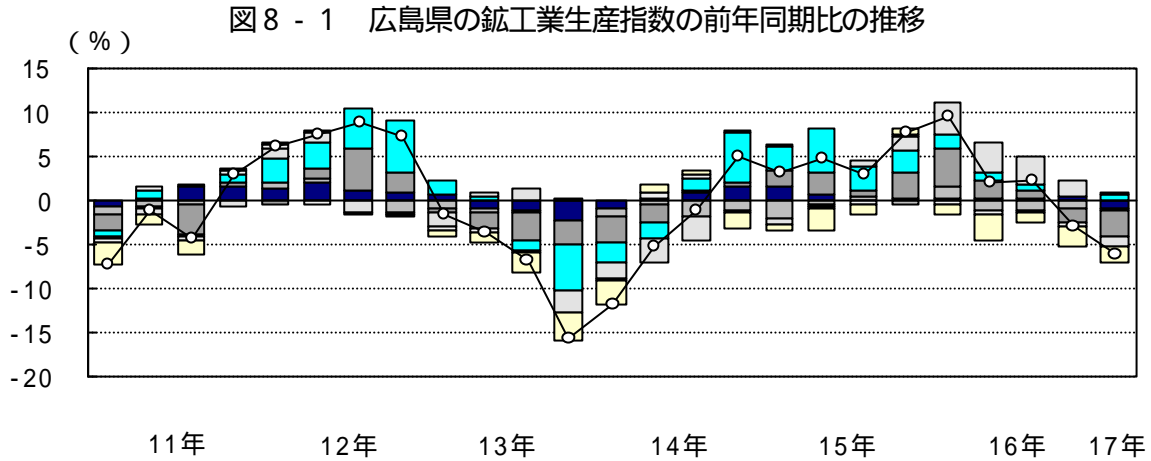




## 5 広島県，中国地方及び全国における鋳工業生産指数の推移

### (1) 鋳工業生産指数の推移

広島県，中国地方及び全国における鋳工業生産指数の前年同期比の推移をみると(図8)，平成16年の前年同期比の上昇幅が比較的大きかったのは，中国地方であった。

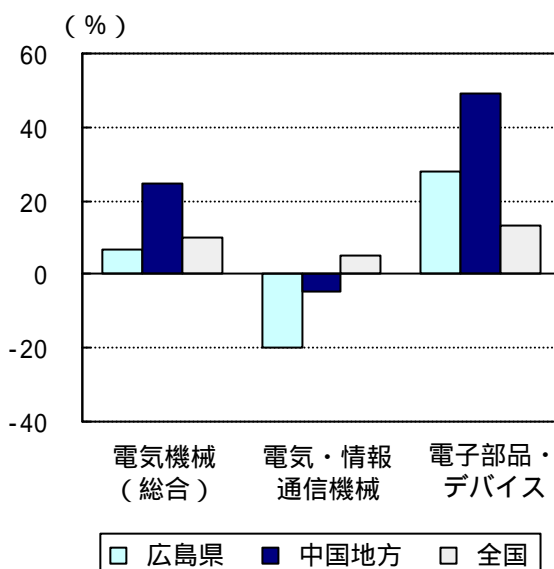


広島県が4～6月期からその上昇幅が鈍化しているのに対し、中国地方は10～12月期でも前年同期比が5.0%の上昇となっている。この差は、電気機械工業（総合）によるところが大きい。全国と比較しても、中国地方の電気機械工業（総合）の伸びは際立っている。

## （2）電気機械工業（総合）の動向

電気機械工業（総合）を電気・情報通信機械工業と電子部品・デバイス工業の2つに分けて分析すると（図9）、中国地方の電子部品・デバイス工業の前年比の上昇幅が大きいのが分かる。一方、広島県は、電子部品・デバイス工業は全国よりも上昇幅は大きいものの、電気・情報通信機械工業の低下幅も大きいため、中国地方及び全国と比べ、電気機械工業（総合）の上昇幅は小さかった。

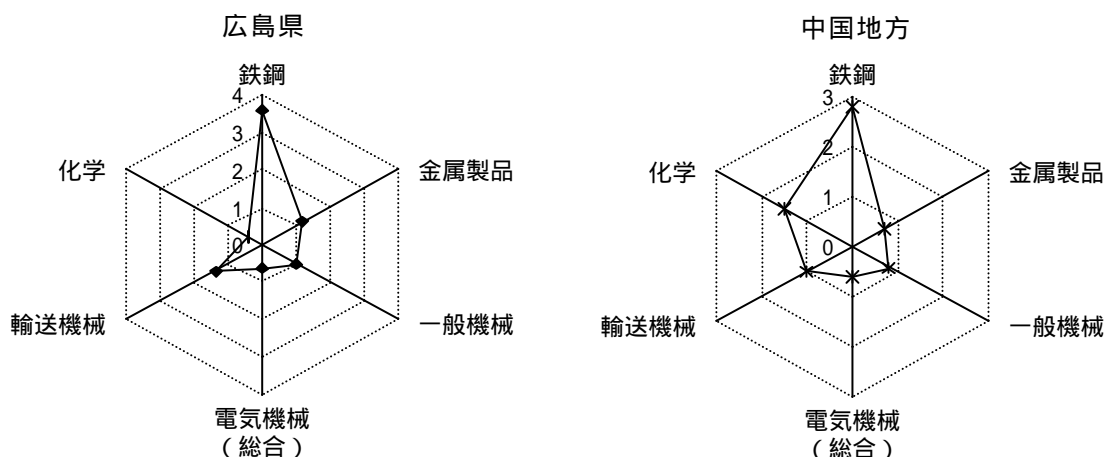
図9 電気機械工業（総合）の平成16年の前年比



## 参考 鉱工業生産指数のウェイト（平成12年基準）について

特化係数<sup>注</sup>を用いて、広島県及び中国地方の産業構造が全国と比較してどの程度偏りがあるかみてみると（図10）、広島県及び中国地方は、鉄鋼業への特化の度合いが大きい。また、広島県は、金属製品工業及び輸送機械工業への特化の度合いも比較的大きい一方、化学工業及び電気機械工業（総合）への特化の度合いが比較的小さい。

図10 主要業種における広島県及び中国地方の特化係数（平成12年基準）



注 特化係数 = 各地域の構成比 ÷ 全国の構成比



別表 広島県，中国地方及び全国の鉱工業生産指数

(平成12年平均=100)

	広島県				中国地方				全国			
	季節調整 済指数	前 (期) 月 比	原指数	前年(同 月期) 比	季節調整 済指数	前 (期) 月 比	原指数	前年(同 月期) 比	季節調整 済指数	前 (期) 月 比	原指数	前年(同 月期) 比
平成 11年	\	\	93.1	2.6	\	\	95.6	0.1	\	\	94.6	0.2
12年			100.0	7.4			100.0	4.6			100.0	5.7
13年			93.0	7.0			93.3	6.7			93.2	6.8
14年			89.6	3.7			94.1	0.9			92.0	1.3
15年			93.7	4.6			97.0	3.1			95.0	3.3
16年			96.2	2.7			104.4	7.6			100.2	5.5
平成 11年 期	93.3	0.5	97.3	7.2	94.9	1.1	96.5	3.3	93.8	1.4	94.1	4.1
期	93.5	0.2	89.4	1.1	94.6	0.3	91.3	0.7	93.8	0.0	91.3	1.0
期	91.1	2.6	91.7	4.3	95.1	0.5	95.7	0.1	95.1	1.4	95.2	2.1
期	96.3	5.7	94.0	3.0	98.2	3.3	98.8	4.2	96.6	1.6	97.7	4.0
12年 期	97.3	1.0	103.3	6.2	98.6	0.4	101.4	5.1	97.2	0.6	99.1	5.3
期	99.5	2.3	96.1	7.5	101.9	3.3	98.6	8.0	99.7	2.6	97.6	6.9
期	98.8	0.7	99.8	8.8	99.2	2.6	99.9	4.4	100.4	0.7	100.4	5.5
期	103.1	4.4	100.9	7.3	99.6	0.4	100.0	1.2	101.8	1.4	102.8	5.2
13年 期	97.8	5.1	101.5	1.7	96.7	2.9	97.9	3.5	98.5	3.2	98.9	0.2
期	95.5	2.4	92.5	3.7	93.8	3.0	91.0	7.7	95.1	3.5	93.1	4.6
期	91.9	3.8	92.9	6.9	92.0	1.9	92.7	7.2	90.9	4.4	90.9	9.5
期	86.8	5.5	85.2	15.6	91.1	1.0	91.6	8.4	88.5	2.6	89.8	12.6
14年 期	90.2	3.9	89.5	11.8	90.1	1.1	91.0	7.0	89.2	0.8	89.2	9.8
期	93.4	3.5	87.7	5.2	94.3	4.7	91.6	0.7	91.8	2.9	89.9	3.4
期	93.2	0.2	91.8	1.2	96.3	2.1	97.4	5.1	93.4	1.7	93.9	3.3
期	98.5	5.7	89.4	4.9	96.1	0.2	96.6	5.5	93.8	0.4	95.2	6.0
15年 期	90.4	8.2	92.3	3.1	95.9	0.2	96.4	5.9	94.0	0.2	94.1	5.5
期	92.8	2.7	91.8	4.7	94.9	1.0	92.5	1.0	93.6	0.4	91.9	2.2
期	93.7	1.0	94.5	2.9	96.3	1.5	97.7	0.3	94.5	1.0	94.8	1.0
期	98.6	5.2	96.3	7.7	101.0	4.9	101.4	5.0	98.2	3.9	99.1	4.1
16年 期	98.7	0.1	101.1	9.5	102.8	1.8	104.6	8.5	98.9	0.7	100.6	6.9
期	95.2	3.5	93.7	2.1	104.9	2.0	101.9	10.2	100.8	1.9	98.5	7.2
期	95.9	0.7	96.7	2.3	103.2	1.6	104.3	6.8	100.7	0.1	100.9	6.4
期	95.0	0.9	93.4	3.0	105.9	2.6	106.7	5.2	99.8	0.9	100.9	1.8
17年 期	92.6	2.5	94.9	6.1	108.0	2.0	108.4	3.6	101.5	1.7	102.0	1.4
平成 12年 1月	95.7	1.4	90.3	2.8	98.4	1.0	92.8	3.5	96.9	0.0	88.5	5.1
2月	97.3	1.7	98.5	8.6	98.0	0.4	97.6	8.0	96.6	0.3	97.7	7.6
3月	99.0	1.7	121.0	6.6	99.4	1.4	113.9	4.2	98.2	1.7	111.2	3.6
4月	98.0	1.0	94.2	5.5	101.1	1.7	97.4	6.6	99.5	1.3	96.6	6.0
5月	101.3	3.4	95.2	11.0	103.3	2.2	98.5	11.4	99.1	0.4	93.3	7.4
6月	99.1	2.2	98.8	6.2	101.2	2.0	100.0	6.3	100.6	1.5	103.0	7.4
7月	95.3	3.8	96.8	6.6	97.3	3.9	98.9	3.5	100.1	0.5	101.2	4.4
8月	100.7	5.7	96.5	13.3	100.7	3.5	98.0	5.7	101.6	1.5	95.5	8.5
9月	100.4	0.3	106.0	7.1	99.7	1.0	102.8	4.0	99.4	2.2	104.5	3.8
10月	100.7	0.3	97.5	5.3	98.4	1.3	97.5	1.2	101.1	1.7	102.9	6.6
11月	101.7	1.0	99.5	6.8	99.0	0.6	99.5	1.7	101.5	0.4	103.2	4.3
12月	106.8	5.0	105.7	9.8	101.5	2.5	103.0	0.8	102.7	1.2	102.4	4.8
13年 1月	97.9	8.3	90.3	2.8	97.7	3.7	92.8	0.5	98.3	4.3	90.6	2.4
2月	98.9	1.0	98.5	8.6	99.4	1.7	97.6	2.5	99.4	1.1	96.7	1.0
3月	96.6	2.3	121.0	6.6	93.0	6.4	113.9	7.7	97.7	1.7	109.4	1.6

(平成12年平均=100)

	広 島 県				中 国 地 方				全 国			
	季節調整 済指数	前 月 (期)比	原指数	前年(同 月期)比	季節調整 済指数	前 月 (期)比	原指数	前年(同 月期)比	季節調整 済指数	前 月 (期)比	原指数	前年(同 月期)比
平成 13年 4月	97.1	0.5	93.0	1.3	95.3	2.5	92.5	5.0	96.8	0.9	94.0	2.7
5月	93.1	4.1	89.9	5.6	94.1	1.3	90.3	8.3	94.8	2.1	90.4	3.1
6月	96.2	3.3	94.7	4.1	91.9	2.3	90.2	9.8	93.7	1.2	94.9	7.9
7月	93.9	2.4	96.8	0.0	93.0	1.2	95.5	3.4	92.2	1.6	94.2	6.9
8月	92.2	1.8	88.6	8.2	91.4	1.7	89.4	8.8	91.2	1.1	85.8	10.2
9月	89.6	2.8	93.3	12.0	91.5	0.1	93.2	9.3	89.3	2.1	92.6	11.4
10月	89.0	0.7	87.0	10.8	94.1	2.8	93.9	3.7	89.2	0.1	92.0	10.6
11月	84.7	4.8	84.7	14.9	89.5	4.9	90.3	9.2	87.7	1.7	90.3	12.5
12月	86.7	2.4	84.0	20.5	89.7	0.2	90.6	12.0	88.6	1.0	87.2	14.8
14年 1月	89.1	2.8	83.0	10.5	89.7	0.0	85.6	8.3	88.0	0.7	81.1	10.5
2月	91.5	2.7	83.9	12.7	90.6	1.0	86.7	8.9	89.4	1.6	86.9	10.1
3月	90.1	1.5	101.7	12.0	90.1	0.6	100.6	4.3	90.1	0.8	99.7	8.9
4月	92.7	2.9	88.0	5.4	93.0	3.2	91.2	1.4	89.6	0.6	88.1	6.3
5月	93.9	1.3	88.4	1.7	93.9	1.0	90.2	0.1	93.4	4.2	89.0	1.5
6月	93.7	0.2	86.7	8.4	95.9	2.1	93.3	3.4	92.4	1.1	92.6	2.4
7月	91.7	2.1	98.8	2.1	96.4	0.5	100.5	5.2	93.0	0.6	97.4	3.4
8月	92.6	1.0	87.7	1.0	97.0	0.6	94.2	5.4	93.3	0.3	86.8	1.2
9月	95.2	2.8	88.9	4.7	95.5	1.5	97.6	4.7	94.0	0.8	97.4	5.2
10月	95.0	0.2	87.1	0.1	95.5	0.0	95.2	1.4	94.1	0.1	97.0	5.4
11月	99.2	4.4	91.6	8.1	98.0	2.6	97.9	8.4	93.7	0.4	95.2	5.4
12月	101.3	2.1	89.4	6.4	94.9	3.2	96.7	6.7	93.6	0.1	93.3	7.0
15年 1月	89.9	11.3	84.0	1.2	96.0	1.2	91.3	6.7	94.8	1.3	87.5	7.9
2月	91.3	1.6	88.4	5.4	95.7	0.3	91.2	5.2	93.6	1.3	91.0	4.7
3月	90.0	1.4	104.4	2.7	96.1	0.4	106.8	6.2	93.6	0.0	103.7	4.0
4月	93.1	3.4	91.7	4.2	94.8	1.4	93.0	2.0	93.1	0.5	90.7	3.0
5月	92.5	0.6	91.4	3.4	95.5	0.7	91.7	1.7	94.1	1.1	90.0	1.1
6月	92.9	0.4	92.2	6.3	94.5	1.0	92.7	0.6	93.5	0.6	95.0	2.6
7月	91.9	1.1	95.1	3.7	95.0	0.5	99.2	1.3	94.0	0.5	97.3	0.1
8月	93.8	2.1	88.9	1.4	95.3	0.3	91.6	2.8	93.0	1.1	85.7	1.3
9月	95.3	1.6	99.4	11.8	98.7	3.6	102.4	4.9	96.4	3.7	101.3	4.0
10月	95.5	0.2	92.2	5.9	99.6	0.9	99.2	4.2	97.5	1.1	100.8	3.9
11月	99.4	4.1	96.4	5.2	101.1	1.5	100.1	2.2	98.8	1.3	97.9	2.8
12月	100.8	1.4	100.3	12.2	102.4	1.3	104.8	8.4	98.2	0.6	98.7	5.8
16年 1月	100.7	0.1	95.4	13.6	105.0	2.5	99.0	8.4	101.0	2.9	92.2	5.4
2月	96.9	3.8	93.3	5.5	101.9	3.0	99.7	9.3	97.2	3.8	97.1	6.7
3月	98.6	1.8	114.5	9.7	101.4	0.5	115.1	7.8	98.4	1.2	112.4	8.4
4月	94.1	4.6	92.0	0.3	104.2	2.8	102.4	10.1	101.0	2.6	98.5	8.6
5月	93.9	0.2	91.0	0.4	105.1	0.9	98.6	7.5	100.5	0.5	93.4	3.8
6月	97.5	3.8	98.2	6.5	105.3	0.2	104.7	12.9	101.0	0.5	103.6	9.1
7月	97.2	0.3	100.3	5.5	104.0	1.2	106.8	7.7	101.1	0.1	103.3	6.2
8月	95.9	1.3	91.9	3.4	104.6	0.6	101.4	10.7	100.8	0.3	93.9	9.6
9月	94.5	1.5	98.0	1.4	101.0	3.4	104.7	2.2	100.2	0.6	105.4	4.0
10月	94.5	0.0	90.8	1.5	103.9	2.9	101.2	2.0	99.1	1.1	99.9	0.9
11月	95.3	0.8	94.2	2.3	103.8	0.1	105.4	5.3	100.2	1.1	102.2	4.4
12月	95.3	0.0	95.2	5.1	110.1	6.1	113.4	8.2	100.0	0.2	100.6	1.9
17年 1月	92.9	2.5	88.0	7.8	111.0	0.8	104.3	5.4	103.2	3.2	94.0	2.0
2月	90.7	2.4	87.4	6.3	107.8	2.9	102.6	2.9	100.8	2.3	98.1	1.0
3月	94.1	3.7	109.3	4.5	105.1	2.5	118.4	2.9	100.6	0.2	113.8	1.2